

ごあいさつ

第5回認知症メモリーウォークを平成23年10月2日に開催し、多くの方々にご参加いただきましたことは誠に感謝の極みでございます。また、今開催にご協力いただきました千葉県、千葉市、ご後援ご賛同いただきました団体様に深く御礼申し上げます。

2011年は、東日本大震災が起こった苦難の年でした。

被災された方々、今もって福島第1原子力発電所事故の影響でお苦しみの方々に、心からお見舞い申し上げます。今回は、大震災の年ということで、会場に震災募金箱を置きました。参加者から寄せられた募金は、総額 30,392円 となり、被災地での認知症の方々に役立てていただこうと「認知症の人と家族の会」に義捐金として寄付いたしました。この場をお借りしてご報告いたします。誠にありがとうございました。

2012年3月

第5回認知症メモリーウォーク・千葉 実行委員会委員長 植松多恵子



平成24年3月6日、認知症の人と家族の会千葉支部において義捐金を贈呈

認知症メモリーウォークとは

世界77か国が加盟している「国際アルツハイマー病協会」は、WHO加盟の公認を記念して、9月21日を「世界アルツハイマーデー」とし、世界中で、認知症の理解とこの病気に対する社会への啓発活動を目的にシンポジウムなどが実施されています。特に、街頭啓発活動として「メモリーウォーク」が世界各国で盛んに行われています。

記念すべき日本で最初のメモリーウォークは、2007年に千葉県で認知症メモリーウォーク・千葉として開催されました。

認知症メモリーウォーク・千葉は、2006年に千葉県に設置された千葉県認知症対策委員会から誕生しました。同委員会は、千葉県の高齢者保健福祉計画の施策に対し、その具体化を検討することを目的とした会合です。委員は介護従事者や高齢者に携わる様々な職種から構成されており、その視点を生かし、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりについて検討しました。中でも「地域に認知症を理解してもらうため、何をすればよいのか」という課題に取り組み、認知症メモリーウォークを千葉で開催しようではないかということになりました。

実行委員からのメッセージ

「メモリーウオーク～事務局長と会場設営係を拝命して」

実行委員 木村進一

東日本大震災から間もない昨年(2011)の5月、実行委員有志が集まりました。

「今年はどうしようか」、「やれないんじゃない」という空気の中、気を吐いた2名。それが小林委員と私、木村でした。今思い返せば、単純な元気づけであったのかもしれませんが、結局、木村が事務局長を引き受け、何とかメモリーウオークの灯を灯し続けることができました。以下は実行委員を代表させていただいて、恐縮ながらのメッセージ(つぶやき)です。

テント、長テーブル、パイプいすを軽トラで、7時45分までに会場広場に運び入れた。もうすでに植松委員長がお見えになっている。

今年も天候に恵まれ、笑顔あふれる挨拶があちこちで交わされている。あーよかった。

実行委員ミーティング、ボランティアスタッフのミーティング、ゼッケンを付け、専用帽子をかぶると緊張感と一体感が出て、スタッフの背中にも感じられるから不思議である。

男性設営スタッフが受け付け用のサーカステント、次に救護班用テント張り、・・・5回目ともなるとボランティアスタッフも顔見知りになり、手際も良くなった。5年連続来てくださった方もいる。

千葉駅前ではプラカードを持ち会場誘導をしているスタッフから、アルツハイマーデイ・リーフレットを配り始めたとの連絡が入った。あっちも頑張っている。

会場近くのバス停からの会場誘導は、『家族の会：世界アルツハイマーデイ』ののぼりを持ち、4班に分かれて案内誘導をしている。

駐車場からは、介護施設のワゴンから職員と手をつないで下りて来られる方、車いすの方もいらっしゃる。続々と笑顔いっぱいの参加者が来られて、受付係が声を張り上げ、メダルを渡している。認知症啓発のシンボルカラーであるオレンジ色のリボンがついているメダルは、こころ参加として、介護施設のお年寄り達が色付けしてくださったものだ。

あっという間に開会式、ウオークが始まり、設営班も『認知症でも安心な千葉に!!』の横断幕を持ってウオーク最後尾についた。クイズポイント、シールポイント、救護班に撤収を合図して、最後尾グループは増えていく。あー今年もやって本当によかった。みんなと喜びをかみしめながら閉会式に。来年もやるぞ！

2012年からは、毎年、青葉の森公園で**10月の第1日曜日**に開催をと、実行委員の集合記念写真を撮っている最中に決定した。認知症啓発活動を続けることは一人では難しいが、メモリーウオークに参加すると、皆さんからエネルギーをいただけるのが嬉しい。認知症メモリーウオーク自体が大きな力を備えている気がしてならない。